

学校 教育 目標	◎人とかかわり合いを大切に教育を推進し、豊かな人間性をもった児童・生徒を育てます。 ○学習の基礎・基本を習得し、それらを活用して、主体的に課題解決する力を育てます。 ○自他の生命と人格を尊重し、健やかな成長を心がける姿勢を育みます。 ○様々な人とのコミュニケーションを大切に、地域・社会の一員であることを意識するとともに、グローバル社会へ視野を広げることができるようにします。				
	学校概要	創立 14(8) 周年 2 学期制	学校長 根岸 淳 副校長 吉田 岳雄	准校長 岡崎 恵子 濱部 剛	小学部 一般学級: 15 個別支援学級: 4 中学部 一般学級: 7 個別支援学級: 2

<b>教育課程全体で 育成を目指す資質・能力</b>	<b>育成を目指す資質・能力を踏まえた 「9年間で育てる子ども像」と具体的取組</b>
<コミュニケーション能力> <表現力> <情報活用能力>	◎「すすんで挑み、自分をみがく」ことができる子ども ～「何する、どうする」から「気づく、考える、行動する」へ～ ○小中教職員の乗り入れ授業と合同授業研究会 ○小中合同教科会・指導部会等 ○フレキシブルな異学年交流 など

<b>中期 取組 目標</b>	課題解決のために情報を収集・整理・分析し、まとめ・表現する学習活動を充実させ、主体的・対話的で深い学びの視点から授業改善を図り、9年間継ぎ目のない教育を推進する。(3年間を通して) ◆ICTを効果的に活用し、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を一体的に充実させる。 ◆授業のねらいを児童生徒と共有し、評価・振り返りを通して、指導改善・学習改善を図る。 ◆表現活動を充実させ、言葉による表現力と言葉によらない表現力を一体的に育成する。
-------------------------	--

重点取組分野	具体的取組
<b>知 授業改善</b> 担当 学習指導部・教科会	①合同教科会を充実させ、主体的・対話的で深い学びの視点から、授業づくりや評価の在り方について共通理解を図る。 ②市学力・学習状況調査の結果分析から課題を明確にして、教材や指導方法を工夫し、学力向上を目指す。 ③言語活動を充実させ、思考力・判断力・表現力を育成する。
<b>徳 道徳・人権教育</b> 担当 人権・道徳・特活担当	①学校教育全体を通して、生命の尊さを考えさせる指導を行う。 ②「考え、議論する」特別の教科道徳の授業を充実させる。 ③児童生徒の交流活動(きりたま)を通して、思いやりの心を育成し、自己肯定感の向上を図る。
<b>体 体育・健康教育</b> 担当 保健安全指導部・体育部	①体力・運動能力テスト、生活意識調査の結果分析をし、課題解決のための運動や健康教育に継続的に取り組む。 ②栄養教諭と連携を図り、小学部・中学部でつながりの食育を推進する。
<b>公開 ESDの推進</b> 担当 教科会・総合・特活担当	①教科・総合的な学習の時間・特活等で、SDGsにつながる活動を年間指導計画に明記する。 ②各単元の学習がSDGsのどこにつながるか、児童生徒が意識しながら学習を進められるようにする。
<b>いじめへの対応</b> 担当 いじめ防止対策委員会	①アンケートや教育相談を通して、いじめの早期発見・早期解決を図る。 ②学校行事に主体的・協働的に取り組むことによって、自己有用感を高めることができるようにする。
<b>人材育成・ 組織運営(働き方)</b> 担当 教務部・初任研担当・メンターチーム	①メンターチームが主体的に研修に取り組めるような環境をつくる。小中合同のメンター研修も取り入れる。 ②小中合同会議を充実させ、9年間継ぎ目のない教育に、教職員が主体的に参画することができるようにする。 ③教職員が健康にやりがいをもって勤務できるように、組織や環境を整える。
<b>地域学校協働活動</b> 担当 教務部・地域連携担当	①学校運営協議会を充実させ、委員からの意見を学校経営に反映させる。 ②地域ボランティアを積極的に活用し、教育活動の充実を図る。 ③地域の方々に学校の状況を知ってもらうための情報発信に努める。
<b>特別支援教育</b> 担当 特別支援教育担当	①SCやSSW、関係機関と連携を図り、見通しをもった指導や支援を行う。 ②特別支援教育コーディネーターを中心に、小中での情報共有を密に行う。 ③小中合同研修会を実施し、特別支援教育のあり方について、教職員全員で共通理解を図る。
<b>児童生徒指導</b> 担当 児童生徒指導部	①児童生徒指導上の情報共有を大切に、組織的に迅速・丁寧な対応を行う。 ②社会的スキル横浜プログラムを活用したり、情報モラル教育を継続的に進めるなど、先手を打った児童生徒指導を進める。
<b>GIGAスクール構想</b> 担当 情報教育担当	①授業でのICTの効果的な活用を工夫し、個別最適な学び・協働的な学びを推進する。 ②ICTを活用した情報共有を進め、ペーパーレスを促進する。